

ノリ養殖環境速報 KH-01-15 (播磨灘)

令和2年3月24日 発行

調査年月日：令和2年3月23日

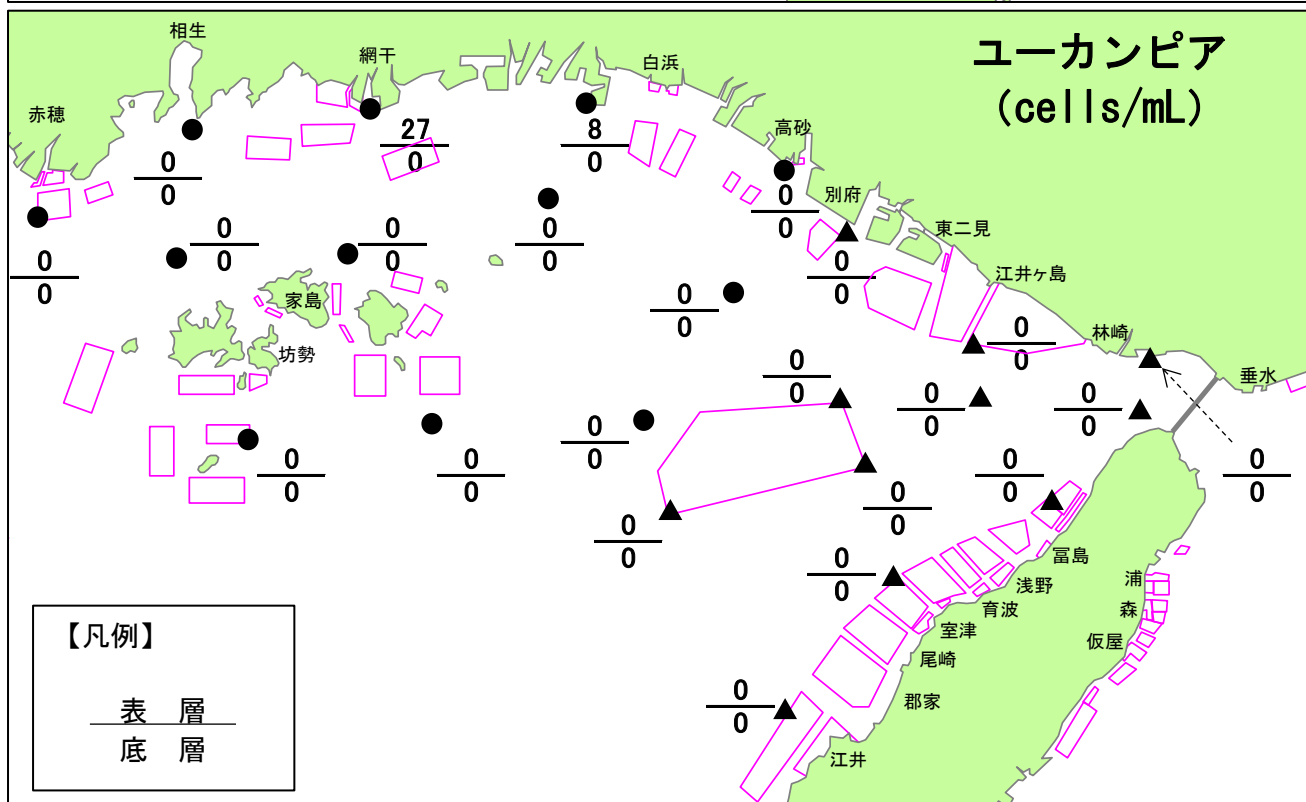
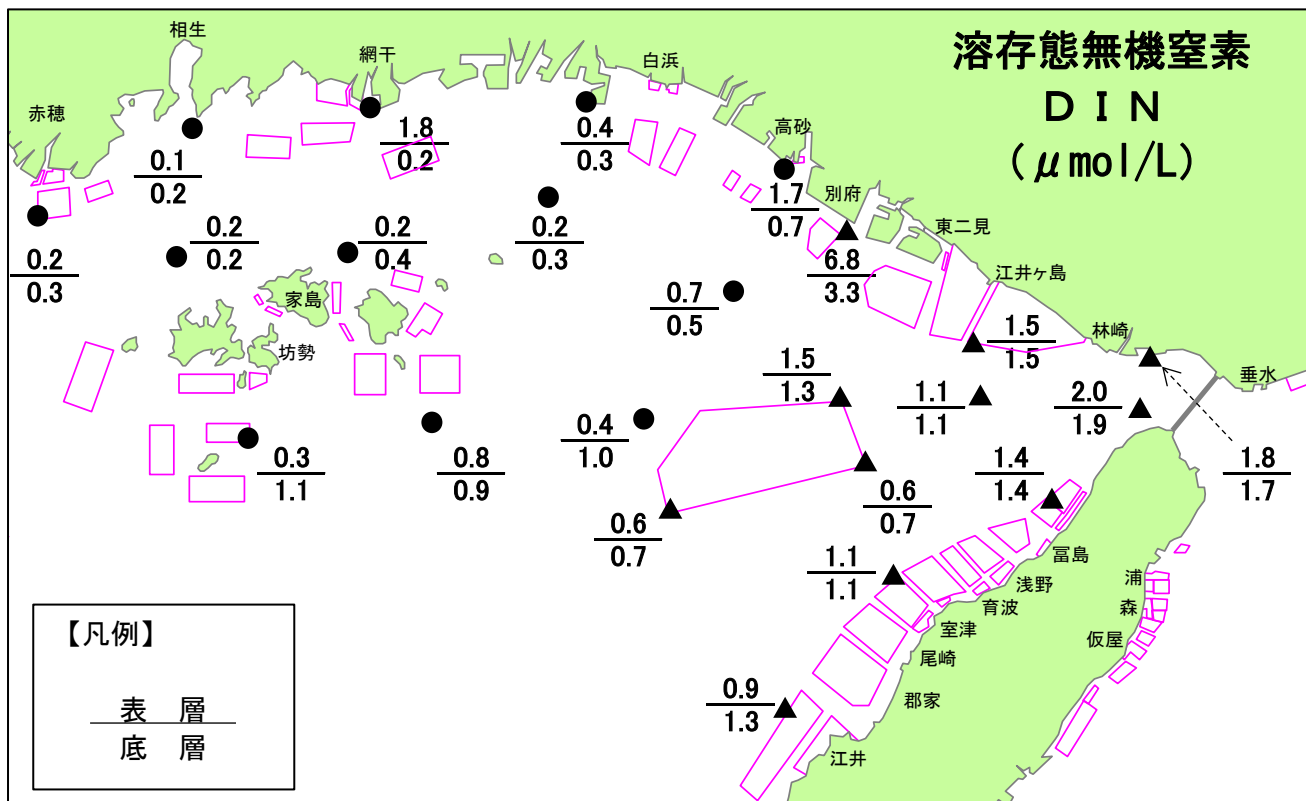
[調査箇所は地図上に●(西部)および▲(東部)印で表示しています。]

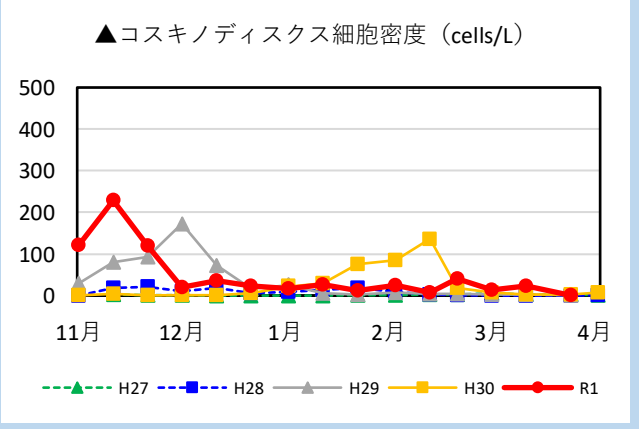
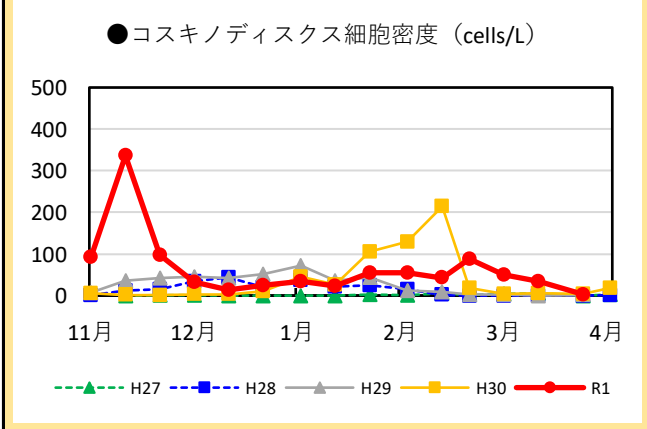
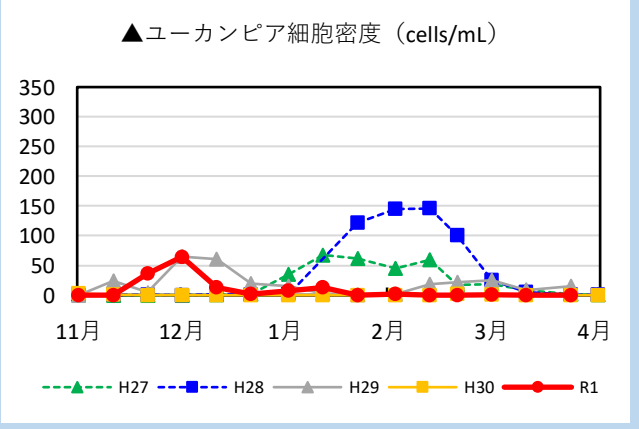
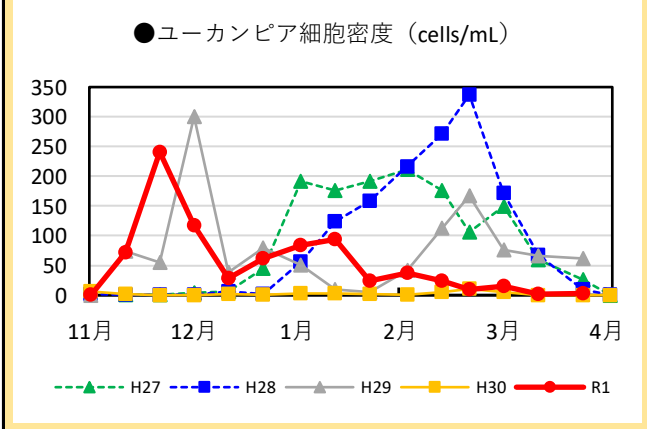
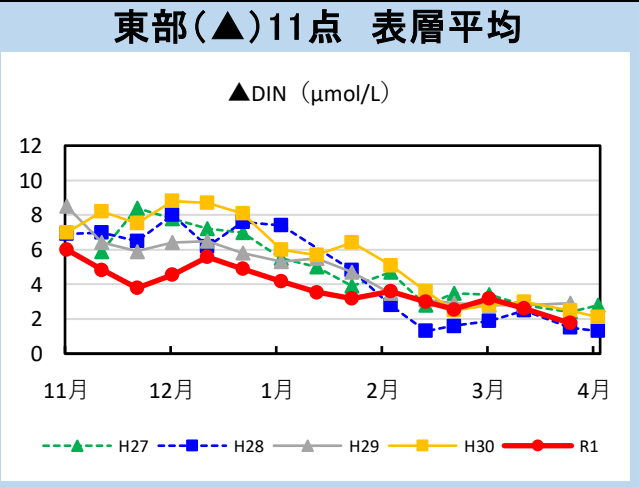
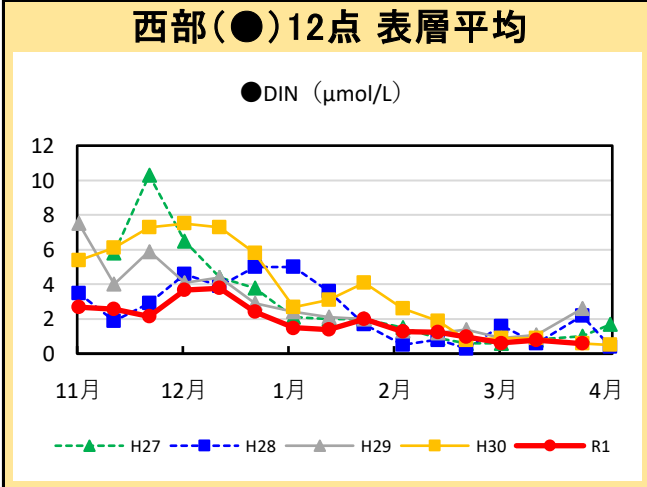
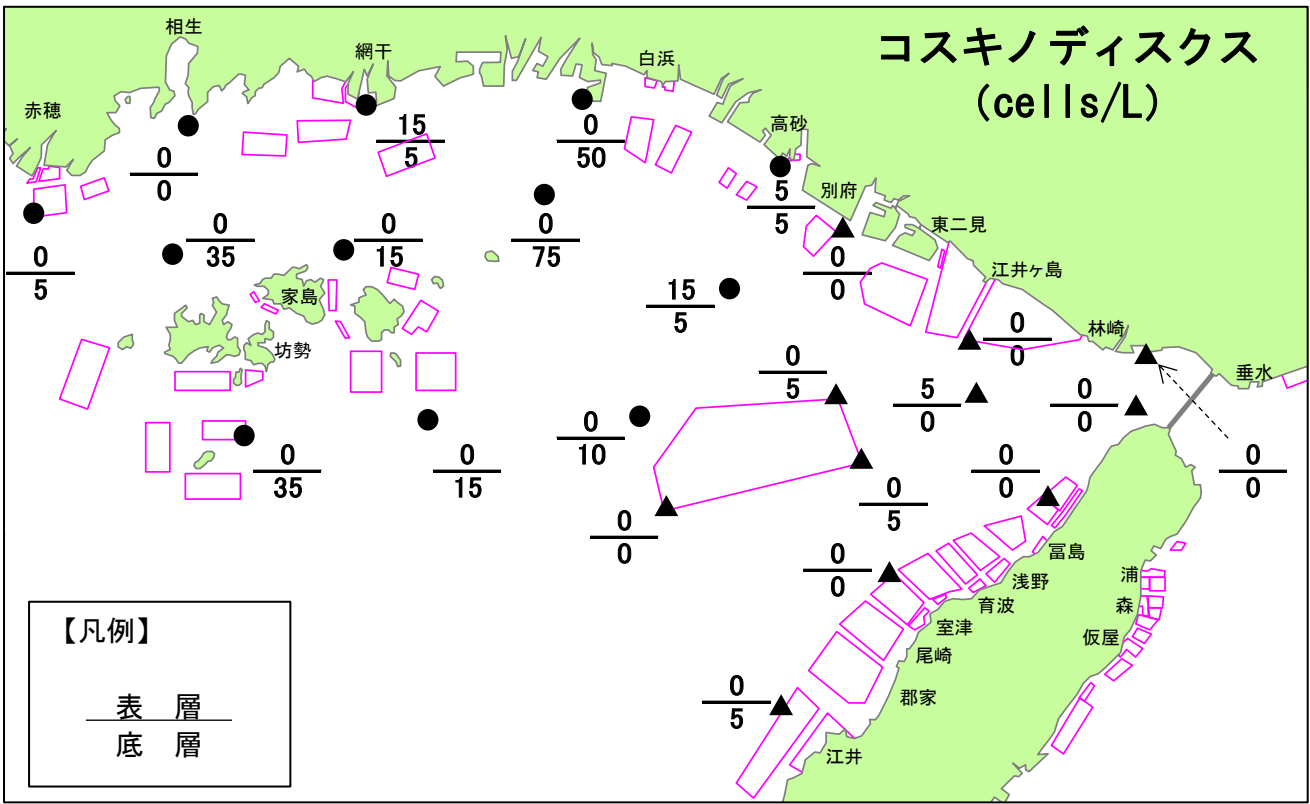
概況

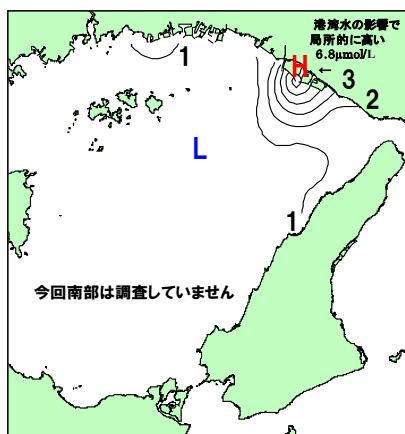
播磨灘北部(調査海域)の表層DIN濃度は、西部では0.1~1.8 $\mu\text{mol/L}$ 、東部では0.6~6.8 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています。北西部沿岸および家島諸島周辺海域では概ね1.0 $\mu\text{mol/L}$ 以下と、とても低い値になっています。

大型珪藻のユーカンピアやコスキノディスクスは、ほとんど見られなくなりました。

水温は、白浜以西では12.1~12.3 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では12.0~12.8 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で11.6~11.9 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では11.7~12.1 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では11.8~12.0 $^{\circ}\text{C}$ でした。







DIN濃度 (μmol/L)



ユーカンピア (cells/mL)



コスキノディスクス (cells/L)

令和2年3月23日の水平分布状況(表層、実測値)

(Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています。)

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は、北部沿岸の港湾と明石海峡付近で高く、播磨灘沖合の広い範囲で1.0μmol/L以下と低い値でした。

播磨灘で多く発生していたユーカンピアやコスキノディスクス・ワイレシーはほとんど見られなくなりました。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みか多いとされていますが、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は現状維持程度と考えられます。

週間天気予報 気象庁 3月23日16時36分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日もありますが、その後は低気圧や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間の後半は雨の降る日がある見込みです。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高く、期間の中頃は平年よりかなり高い日があるでしょう。期間のはじめは最低気温が平年より低い日もある見込みです。

降水量は、平年並か平年より多いでしょう。

その他の情報

- ・岡山県の情報は3/2に、香川県の情報は3/4に更新されています。
- ・他県の調査については、以下のURLから参照してください。

岡山県：<http://www.pref.okayama.jp/page/579394.html>

香川県：<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouthou.htm>

【参考】栄養塩の単位：μmol/L = μg・at/L = μM

【今後の予定】

・令和2年4月上旬まで毎月3回程度（上・中・下旬）の発行を予定しています。

・次回は令和2年4月7日頃に発行する予定です。

※この情報は、水産技術センターホームページ (<http://www.hyogo-suigi.jp/>) でもご覧いただけます。